

生産性向上支援訓練

利用企業様の声



弊社が行うべき訓練をご提示いただいたことで、社員の意識改革につながり、会社全体のDXリテラシーが向上しました

株式会社シズナイロゴス 様

本社：札幌市白石区流通センター7丁目8番21号

従業員数：360名

事業内容：サードパーティロジスティクス事業、共同配送 他

<ご利用コース>

コース名：RPAを活用した業務効率化・コスト削減

訓練時間：6時間 受講者数：12名



<教育担当者様>

—訓練の利用に至った経緯を教えてください。

物流の現場でも人手不足や働き方改革への対応等の変革を求められる時代になりました。こうした社会状況もあり、社長からデータを活用した運営、会社全体のDX化を促進するように指示があり、社員教育の部分で日頃からお世話になっているポリテクセンター北海道に会社のDX化を目指した訓練の実施について相談させていただきました。

—訓練を利用してみていかがでしたか？

訓練当日は、講師の方が社員の反応を見ながら訓練を進めてくださり、また、グループ討議の時間を設けて社員が意見を出しやすい環境を作って頂いたことで、飽きることない訓練の内容となりました。RPAの初歩手順習得に限らず、RPAを活用した業務改善にまで目を向ける社員も現れ、明らかな意識改革につながったと思います。何より会社全体のDXリテラシーが向上した期待以上の訓練となりました。

—今後の抱負を教えてください。

今回は、短期的かつ局所的なRPAを活用した業務の見直しでしたが、今後は中長期的な目線で会社全体のDX推進に向けた訓練も実施したいと思っています。

<受講者様>

—現在の業務における課題を教えてください。

弊社の業務上、配車や倉庫、荷主様支給の専用システムなど局所的にデジタル化されておりますが、拠点間での情報共有や会社・部署単位の収支計算作業など人力に頼る業務が多々あります。自社拠点間で飛び交うFAXや、Excel手集計で作成する数々の資料は、働き方改革に取り組むうえでの大きな障害となっております。

—今回の訓練で習得した内容を、今後どのように業務へ活用する予定ですか？

業務を包括する基幹システム導入やメンテナンスには膨大なコストや時間がかかりますが、担当者レベルでRPA化に取り組むことで、既存システムや部署間の隔たりを解消出来ればと考えております。プログラミングの基礎知識が必要な為、すぐに業務に取り入れるのは難しいですが、今後も学習を継続し脱アナログ、ひいては業務効率改善の一つとして活用していきたいと考えております。